＜様式１１－１＞

（　　2022　　）年度　　学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（　京都市山王　　）児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保 健康の管理・情緒の安定 基本的生活習慣の確立 社会生活技術の獲得	・あいさつ、連絡帳の提出、ロッカー整理、遊具片付け、手洗いうがい、消毒などの生活習慣づけ ・来館、下館時間と経路の確認 ・出欠確認 ・おやつ、昼食に伴う準備や片付け ・安全への意識付け ・長期休暇中の学習の時間や昼寝の時間など	・家庭的な雰囲気で子どもたちが過ごせるよう配慮しながら、自分のことを自分でできる力をつけられるよう、声かけなどを行い、子ども達は少しずつ力をつけてきた。あいさつは、できる子が大多数になった。今後も声かけは継続していく。 ・連絡帳の提出、手洗いうがいなどは声かけにより、自主的にできる子どもが増えた。連絡帳出し忘れ、手をきちんと洗わなかったり、ハンカチを忘てくる子が多かった。2・3年生になると連絡帳の出し忘れが増える。ハンカチ忘れは、保護者に伝わりにくいので、継続的に声かけをしていくことが必要。 ・本の片付けが出来ないことは課題。並べ方や収納の場所が分かりやすくなるように、本と本棚にシールを貼るなどの工夫が必要。 ・昼食・おやつは、なるべく全員が揃って食べられる時間に設定し、コロナ対策として班で食べず、1人ずつ着席して食べた。学校と連携しながら対応していく。行事等で時間や場所の確保が難しい場合は、おやつを持ち帰る等の対応もした。 ・学校からの帰館時に、トラブルがあった場合、子どもたちとその都度話をし、内容によっては保護者や学校と情報共有に努めた。これからも保護者や学校などと連携し子どもたちの安全を確保していきたい。 ・学校から児童館が遠く交通量の多い道を数回渡るため、学校と連携し、4月中旬までは1年生を迎えに行き、その後5月上旬までは大きな交差点で1年生を見守り、保護者の方の安心につながった。 ・部活に参加している5.6年生の帰館時間が17時過ぎることが多かった。必要に応じて学校及び保護者の方に伝えた。 ・土曜日及び長期休業中は、朝学習の時間を設けた。学習の習慣づくりにつながった。今後も朝学習は継続していく。 ・長期休業中はお昼寝の時間を設けた。高学年は昼寝をするか勉強をするか自分で決めさせた。その時間は1時間に設定しているが、保護者の要望に対応することもあった。今後もお昼寝の時間は継続していく。 ・遊びからお帰りの会への切り替えが苦手な子どもが多かった。切り替えられるような声かけや場面転換の工夫が必要。
子ども育成機能	生活体験の拡大 社会性の養成 自立の促進と自主性の尊重	・入会式 ・クリスマス会 ・終了に向けての取組、思い出遠足、終了式 ・班活動の実施 ・行事や日常の取り組み、あそびへの参加 （季節行事、他館交流、こどもまつり、各種大会、オニム・きりえ・おりがみ・工作クラブ、おはなしの会、けん玉・こま検定） （以降中止、デイキャンプ、おわらいクッキング） ・お誕生会＆みんな遊び ・おみせやさんごっこ ・おべんとういらないデー	・入会式にむけて2・3・4・5・6年生を中心に新入生を迎える準備を進め、式でも自分たちの役割を頑張ることができた。プラバンで作ったキーホルダーをプレゼントするが、その絵柄も子どもたち自身が選んだことで、より受け入れがスムーズになった。入会式のあそびの紹介をもう1枠増やしても良かった。 ・こどもまつりにむけて、夏休みから職員と『ドラえもん』のダンスを練習し、当日の参加者の前で堂々と披露することができた。高学年は『ルージュの伝言』を踊り、活躍の場を作った。 ・陶化デイサービスセンターの新年の挨拶は、コロナ対策の為中止した。その代わりに子どもたちで作ったちぎり絵の作品をプレゼントして交流を図った。親子行事の思い出遠足も中止した。終了式にむけての作業は子どもたちに負担がかからないよう、工夫して行った。 ・日常の取り組みは、オニムやマンカラ大会などに向け、有志のミニトーナメントを実施。今年度は、きりえクラブ・工作クラブ・おりがみクラブ・チャレンジクラブの実施。子どもたちはそれぞれ、楽しんで参加していた。とくにチャレンジクラブでは、片足立ちやフラフープ等、参加しやすい内容を企画したことで、参加する子どもが多かった。工作クラブの中でちぎりえクラブも実施した。作品は地域の春祭りに展示していただいた。 ・「おみせやさんごっこ」は、コロナ対策のため子どもの役割を作らなかった。時間がかかることは課題。毎月のお誕生会では、4年生以上が交代で実行委員を当日の司会やピアノ演奏をし、高学年としての役割をはたし、お祝いできるよう取り組めた。参加した子どもたちも楽しんでいた。上級生が司会している様子を見て、下級生は、「学年が上がれば、自分もあんなことをするんだ」と思ったようだ。特別おやつを選べ、お誕生会を楽しみにしていた。 ・今年度は3館交流オニム大会を、各館6人ずつに縮小して実施し、子どもたちの交流ができた。 ・夏休みや代休日などに「おべんとういらないデー」を実施。保護者の負担軽減になった。季節行事としてバレンタインデーにチョコをラッピングして家族へメッセージを贈った。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換 子育ての仲間づくり 子育てを支えるネットワーク形成	・月だより（学童だより年１２回）発行 ・連絡帳、電話連絡などの日常の情報交換 ・各種アンケート ・入会式、保護者懇談会、思い出遠足（親子交流会） ・終了式などの学童クラブ行事への参加呼び掛け ・個人懇談会の実施 ・おでかけ、デイキャンプ ・こどもまつりなどの児童館行事への参加呼び掛け ・学校の担任の先生との連携、学校行事の見学 ・保育所との連携	・連絡帳やおたよりを通して、保護者や学校の先生に子ども達の様子を伝えた。保護者来館時や電話連絡などでもコミュニケーションを取った。気になることがあれば学校と連絡をとり、家庭・学校・児童館が連携して子ども達を見守っていける関係作りに努めた。集団帰りの家庭については、連絡帳を活用して子どもの様子を伝えられるようにしていきたい。 ・「保護者懇談会」以外に、「個人懇談会」を実施。普段、なかなか話をすることのできない保護者の方も希望され、児童館の外での子どもの様子を知ることができた。継続していきたい。保護者の方と、何でも話せる関係を築いていきたい。また、各行事に保護者も参加してくださるよう年度初めに説明をし、その都度声をかけていった。「あきのこどもまつり」では、保護者の方もお手伝いに協力してくださった。 ・学校での子どもたちの様子を知るため、担任と懇談するなど、コミュニケーションをとり、積極的に情報収集と交換をした。運動会や授業参観は、今年度もコロナのため見に行けなかった。来年度も学校との連携を深めていきたい。 ・締切を過ぎて、提出物を出される方が多かった。締切までに回収できるように工夫する必要がある。出欠確認の必要なものは、おたよりではなく別紙で発行した。来年度も継続していく。

＜様式１１－２＞

（　2022　）年度　学童クラブ事業年間活動報告書

（　京都市山王　）児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内容
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
(1)生活援助機能															
(2)子ども育成機能															
・班構成	2	20	9	16	9	3	3							60	学童で一緒に当番や活動をする班を決定する（4月・10月）。
・入会式	1	10	5	8	5	1	3						11	43	新入会生とその保護者を歓迎する。
・おみせやさんごっこ	12	100	65	95	36	37	19							352	今年度は子どもの店員を置かず、お金券でおやつを購入する。
・図書館おたのしみ	1	3	3											6	南図書館の企画に参加する。
・おたんじょう会	12	123	65	90	37	29	19							343	お誕生月の子どもをみんなでお祝いする。
・ブロックやんちゃフェスタ	1	2	3	3										8	南区・下京区のブロックまつりに参加する。
・さんのうオニム大会	1	2	3	1	1									7	オニムに親しむ。感染症対策のため、学童クラブのみで実施。
・くまのペーさん	1	10	7	9										26	京都おはなしを語る会の方に来てもらい読み聞かせを聞く。
・避難訓練	1	7	6	8	3	1	2							27	緊急時の経路を確認する。感染症対策のため、学童クラブのみで実施。
・ダンス練習	26	161	76	70	70	54	22							453	あきのこどもまつりに向けてみんなでダンスの練習する。
・学童ダンス発表リハーサル	1	3	3	4	2	1		5	7					25	あきのこどもまつりに向けてみんなでリハーサルをする。
・子ども企画会議	2				4		3							7	水あそびの企画を考える。
・ポップづくり	3		1	6										7	本の紹介カードを作る。
・エコの日	2	10	4	10	4	2	1							31	エコについて理解を深める。感染症対策のため、学童クラブのみの実施。
・トランポリンデー	1	1	3	3										7	小学3年生以下がトランポリンで遊ぶ。感染症対策のため、学童クラブのみの実施。
・はみがき大作戦アンケート	1	7	4	8	2	2	1							24	京都の専門学生の方にはみがきについて話を聞く。
・3館オニム大会	1		1	4	1			1	1					8	児童館の代表の子どもたちが参加し、オニム（色ルール）で競う。
・おたのしみ会	1	10	5	10	3		1							29	お楽しみ行事をする。
・絵をかこう	2	2	2	10	1	3								18	高齢者の助けになる道具を考え、絵にする。
・集合写真	3	30	14	26	7	9	2							88	今年度の学童クラブメンバーで写真を撮る。
・終了にむけての取組	13	49	24	35	9	7	5	1	1					131	終了生は終了制作をする。他の子どもたちは終了生にプレゼントを作る。
・バレンタイン企画	1	9	5	8	2	1	2							27	プレゼントを作り、家族に感謝の気持ちを伝える。
・終了式	1	3	2	3	1	1		5	5				4	24	継続する子どもたちと職員が終了生を祝う。
・プレゼント作り	2	12	5	10	4	2	3							36	来年度の新入生へのプレゼントなどを作る。
(3) 子育て支援機能															
・保護者懇談会	4	2											22	24	4・7月の金曜日夜、土曜日午前中の2回に分けて実施。
・おべんとういらないデー	2	18	9	19	7	4	4							61	お弁当を準備してみんなで食べる。
・個人懇談会	7												7	7	12月に希望者を対象に実施。
・入会説明会	1												6	6	令和5年度に登録希望世帯を対象に学童クラブの説明をする。

＊注１　行事名は，（１）生活援助機能　（２）子ども育成機能　（３）子育て支援機能に分類して記入すること
＊注２　２クラス以上の館所で，クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は，行事名と併せて，クラス名を記入すること